

豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.92)

1. 豊田PCB廃棄物処理施設の運転状況について

豊田PCB廃棄物処理施設(豊田施設)の11月の処理実績は下表のとおりです。

11月は秋期定期点検を実施したため、ライン投入台数が少なくなっています。受入については11月18日の静岡県御前崎市及び菊川市内の小口保管者よりコンデンサ51台の搬入をはじめ、おおむね予定通りの台数となっております。写真は受入前ミーティングとコンデンサ型式の確認状況です。

今後もPCB廃棄物処理作業に取り組んでまいります。

平成23年11月の操業実績

種 別	受入台数	ライン投入台数
コンデンサ類	227 台	47 台
トランス類	大型	0 台
	小型	0 台
	車載型	0 台
廃PCB等	0 個	0 個
保管容器	0 個	0 個

※受入後、一時保管してから計画的に処理ラインに投入するため、受入台数とライン投入台数に差が生じます。



受入前ミーティングの様子



コンデンサ型式確認の様子

2. PCB廃棄物の12月の受入計画について

平成23年12月の受入計画(予定)

種 別	受入台数
コンデンサ類	520 台
トランス類	大型
	8 台
	車載型
廃PCB等	0 個
保管容器	2 個

12月のPCB廃棄物の受入計画は、左表のとおりです。

コンデンサ類は、豊田市内の事業者から4台、愛知県内から350台、岐阜県内から1台、静岡県内から132台、三重県内から33台を受け入れる予定です。

大型・小型トランス類は、静岡県内から8台、三重県内から4台、車載型トランスは静岡県内から3台を受け入れる予定です。また、保管容器は、豊田市内から2個を受け入れる予定です。

ドラム缶に入っているPCB油(廃PCB等)の受入予定はありません。

3. 少量保管事業者に対する説明会の開催について

弊社では、処理対象であるPCB廃棄物(トランス、コンデンサ等)の少量保管事業者を対象に、各地で『PCB廃棄物処理説明会』を開催しています。

11月14日に愛知県名古屋市、28日に静岡県静岡市を対象に説明会を実施し、合わせて170社の事業者の方々にご出席いただきました。説明会では、平成24年5月～平成24年7月の重点搬入期間に向けて、受入までに進めていただく契約諸手続き、事業者間の積合せ(混載)運搬等の説明を行いました。

今後も計画的に少量保管事業者向けの説明会を実施し、少量保管物にも配慮したPCB廃棄物の処理を継続してまいります。



11/14 名古屋市の説明会の様子

4. 秋期定期点検の実施について

平成23年度の秋期定期点検は、11月7日から11月25日までの約3週間をかけて実施しました。順次設備を立上げ、PCB無害化処理を進めてまいります。

(1)災害防止協議会の開催

定期点検の実施に先立ち、施設内で作業を実施する業者を一堂に会して災害防止協議会を開催し、定期点検を無事故・無災害で乗り切るための安全ルールの周知徹底、PCBの漏洩防止のための施設内ルール等を説明しました。



災害防止協議会の開催

(2)定期点検の実施

定期点検は、解体設備、洗浄設備、液処理設備等のPCBを分離、分解する設備はもとより、窒素発生装置や冷却塔設備などの用役設備、トラバーサなどの搬送設備などを対象として行いました。また、併せてセーフティネットについても活性炭吸着槽の活性炭交換や漏洩検知器の動作確認なども行いました。

(3)安全パトロール

定期点検期間中は、施設内へ入場する作業者への教育内容や施設内ルールが守られているか等の確認を行うため、日常巡回に加えて、週1回災害防止協議会メンバーによる安全パトロールを実施し、安全作業の指導をしました。



搬送トラバーサ点検



安全パトロールの実施

5. 搅拌洗浄エリアにおける洗浄廃液の漏洩について

平成23年12月1日午前6時20分頃、豊田施設4階の遮蔽フード内にある搅拌洗浄エリアにおいて、素子洗浄後の排液が約30リットル(PCB濃度 2.1mg/kg)が漏洩しているのを発見しました。

漏洩した排液は遮蔽フード内にとどまっており、直ちに回収しています。

また、排気の常時監視設備での異常は認められず、これによるPCBの施設外への漏洩や作業員への影響は有りませんでした。

発生原因は現在調査中ですが、洗浄工程の排液が終了していたことから、液は素子洗浄液が排液弁より漏れたものと考えられます。

原因が判明次第再発防止の対策を実施します。



漏洩箇所の排液弁

問い合わせ先

日本環境安全事業株式会社(JESCO) 豊田事業所 0565-25-3110
【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>